CG-WLBARGNS
CG-WLBARGNS-P
CG-WLBARGNS-U

お使いの手引き

Y613-15394-00 Rev.A

安全にお使いいただくためにお読みください

ここには、使用者および他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、ご購入いただいた製品を安全に正しくお使いいただくための注意事項が記載されています。使用されている警告表示および絵記号の意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ本文をお読みください。

警告表示の説明

⚠警告	この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵記号の説明

この記号は警告・注意を喚起するための記号です。記号の中または近くに具体的な警告・注意事項が示されています。

例) 「発火注意」

この記号は禁止行為を示すための記号です。記号の中または近くに具体的な禁止事項が示されています。

例) 「分解禁止」

この記号は必ず行っていただきたい指示内容を示すための記号です。記号の中または近くに具体的な指示内容が示されています。

例) 「電源プラグをコンセントから抜く」

⚠警告

家庭用電源(AC100V)以外では絶対に使用しないでください。

異なる電圧で使用すると発煙、火災、感電、故障の原因となります。

必ず付属の専用ACアダプタ(または電源ケーブル)を使用してください。

本商品付属以外のACアダプタ(または電源ケーブル)の使用は火災、感電、故障の原因となります。

電源ケーブルを傷つけたり、加工したりしないでください。

電源ケーブルに重いものをのせたり、加熱や無理な曲げ、ねじり、引っ張ったりすると電源ケーブルを破損し火災、感電の原因となります。また、電源ケーブル(またはACアダプタ)をコンセントから抜くときにケーブル部を持って抜かないでください。

本商品(ACアダプタ含む)は風通しの悪い場所に設置しないでください。

過熱し、火災や破損の原因となることがあります。

本商品(ACアダプタ含む)を分解や改造はしないでください。

感電、火災、けが、故障の原因となります。

本商品の通風孔などから液体や異物が内部に入ったら、ACコンセントからプラグを抜いてください。

そのまま使用を続けると、火災、感電の原因となります。

煙が出たり、へんな臭いがしたら使用を中止し、ACコンセントからプラグを抜いてください。

そのまま使用を続けると、火災、感電の原因となります。

濡れた手で本商品を扱わないでください。

電源が接続された状態で、本商品の操作や接続作業を行うと感電の原因となります。

本商品は一般事務、家庭での使用を目的とした商品です。

本商品は、住宅設備･医療機器･原子力設備や機器･航空宇宙機器･輸送設備や機器などの人命に関わる設備や機器および極めて高い信頼性を要求される設備や機器としての使用、またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これらの設備や機器、制御システムなどに本製品は使用しないでください。本商品の故障により社会的な損害や二次的な被害が発生するおそれがあります。

⚠注意

本商品を多段積みで使用したり、通風孔をふさいだりしないでください。

内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。

本商品の前後左右、および上部には十分なスペースを確保してください。

換気が悪くなると内部温度が上昇し火災や故障の原因となります。また、製品に使用しているアルミ電解コンデンサは、高い温度状態で使用し続けると早期に寿命が尽きることがあります。寿命が尽きた状態で使用し続けると、電解液の漏れや枯渇が生じ、異臭の発生や発煙、火災の原因となることがあります。

本商品を次のような場所で使用や保管はしないでください。

- 直射日光のあたる場所
- 暖房器具の近くなどの高温になる場所
- 急激な温度変化のある場所(結露するような場所)
- 湿気の多い場所や水などの液体がかかる場所
- 振動の激しい場所
- ほこりの多い場所や、じゅうたん等の保温性、保湿性の高い場所
- 腐食性ガスの発生する場所
- 台所、浴室、洗面所などの水気や湿気が多い場所
- ユニットバスや天井裏など高温･多湿で風通しの悪い場所
- 壁の中などお手入れが不可能な場所
- 強い磁気や電磁波が発生する装置が近くにある場所

事故防止のため、お手入れ可能な場所に設置してください。

本商品(ACアダプタ含む)にほこりなどが付着していると発煙や火災の原因となる場合があります。ほこりなどが付着している場合は、電源を切った状態にしてから乾いた布でよく拭き取ってください。

雷のときは本商品や接続されているケーブル類に触らないでください。

落雷による感電の原因となります。

本商品を落としたり、強い衝撃を与えないでください。

故障の原因となることがあります。

無線製品をご利用の際のご注意

■電波に関するご注意

本商品を下記のような状況でご使用になることはおやめください。また、設置の前に必ず本書裏面をお読みください。

・ 心臓ペースメーカの近くで本商品をご使用にならないでください。心臓ペースメーカに電磁妨害を及ぼし、生命の危険があります。

・ 医療機器の近くで本商品をご使用にならないでください。医療機器に電磁妨害を及ぼし、生命の危険があります。

・ 電子レンジの近くで本製品をご使用にならないでください。電子レンジによって、本商品の無線通信への電磁妨害が発生します。

この機器の製品仕様に記載されている使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。
底面の次の記載は、この無線機器が 2.4GHz 帯を使用し、変調方式として DS-SS と OFDM 変調方式を採用、想定される干渉距離は 40m であることを表します。また、周波数変更の可否として、全帯域を使用し、かつ「構内局」あるいは「特小局」、「アマチュア局」帯域の回避が可能です。

2.4DS/OF4
▬▬ ▬▬ ▬▬

2.4　　：2.4GHz 帯を使用する無線設備を表します。
DS/OF ：DS-SS 方式および OFDM 方式を表します。
4　　　：想定される干渉距離が 40m 以下を表します。
■■■ ：全帯域を使用し、かつ「構内局」あるいは「特小局」、「アマチュア局」帯域の回避が可能なことを表します。

1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局、アマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、電波の発射を停止した上、本書に記載されている連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置（例：パーティションの設置など）についてご相談ください。
3 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、弊社サポートセンタへお問い合わせください。

■セキュリティに関するご注意

無線LANでは、LANケーブルを使用する代わりに電波を利用してパソコン等と無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲内であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。その反面、電波はある範囲であれば障害物（壁等）を超えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、次のような問題が発生する可能性があります。

●通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が電波を故意に傍受し、
・ID やパスワードまたはクレジットカード番号等の個人情報
・メールの内容
などの通信内容を盗み見られる可能性があります。

●不正に侵入される

悪意ある第三者が無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、
・個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
・特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
・傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
・コンピュータウィルスなどを流し、データやシステムを破壊する（破壊）
などの行為をされてしまう可能性があります。本来、無線LANカードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線LAN製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分に理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお勧めします。

本書の読み方

本書で使用している記号や表記には、次のような意味があります。

●記号について

注意	操作中に気をつけていただきたい内容です。 必ずお読みください。
メモ	補足事項や参考となる情報を説明しています。

●表記について

「　」－「　」－「　」	－（ハイフン）は、「　」で囲まれた項目を順番に選択することを示します。
[　　　]	[　　　] で囲んである文字は画面上のボタンを示します。 例：OK → [OK]
Windows Vista	Microsoft® Windows Vista™ Home Basic、 Microsoft® Windows Vista™ Home Premium、 Microsoft® Windows Vista™ Business および Microsoft® Windows Vista™ Ultimate
Windows XP	Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system および Microsoft® Windows® XP Professional operating system
Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system
Windows Me	Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system
Windows 98SE	Microsoft® Windows® 98 Second Edition operating system

※本書では、複数のOSを「Windows Vista/XP」のように併記する場合があります。

●イラスト、画面について

本文中に記載のイラストや画面は、実際と多少異なることがあります。

目次

PART1　お使いの前に

製品概要

本商品は、IEEE802.11b、IEEE802.11g に準拠した無線ブロードバンドルータです。本商品には次の特長があります。

■ N テクノロジーで高速通信を実現

2 本のアンテナを搭載し、40MHz のダブルチャンネルに対応した N テクノロジーをサポートします。また、既存の IEEE802.11g/b 製品とも互換性があります。

■大型アンテナと内蔵アンテナのツインパワーアンテナで高速通信

筐体外側に大型ハイパワーアンテナと筐体内蔵のアンテナの W アンテナによって、高速通信ができます。

■コンパクトで美しい筐体デザインを採用

筐体内部にアンテナを配置したことにより、部屋の景観を損なわないコンパクトで美しいデザインを採用しました。

■ WPS（Wi-Fi Protected Setup）に対応

無線 LAN の設定方法に、ボタン一つで暗号設定ができる、世界標準の Wi-Fi 規格「WPS」（Wi-Fi Protected Setup）を採用しました。同じ「WPS」を採用している他社製品とも、簡単に通信ができます。

■最新セキュリティに対応

WEP のほか、最新の無線 LAN セキュリティである WPA・WPA2 などに対応します。

■ルータ機能スイッチ搭載

ルータ機能スイッチによって、ルータ機能付きのモデムをお使いの場合も、簡単に本商品のルータ機能のオン / オフの切り替えができます。

■マルチ AP 機能対応

Wi-Fi搭載ゲーム機との接続と、パソコンと家電などの高度なセキュリティを要求される機器との接続を両立できます。

■ダイナミック DNS サービス「corede.net」に対応

ルータの設定画面からe-mailアドレスを登録することで、コレガが提供する無料 DDNS サービス「corede.net（コレデ・ネット)」が受けられます。

付属品の確認

はじめに次のものが同梱されていることを確認してください。万が一、欠品・不良などがございましたら、お買い上げいただいた販売店までご連絡ください。

● **CG-WLBARGNS（単品）**

□ CG-WLBARGNS 本体　□ AC アダプタ　□ LAN ケーブル
□お使いの手引き（本書）　□コンテンツフィルタリングで安心インターネット
□電波干渉注意ラベル　□製品保証書

● **CG-WLBARGNS-P**

□ CG-WLBARGNS 本体　□ CG-WLCB300GNS　□ AC アダプタ
□ LAN ケーブル　□お使いの手引き（本書）
□コンテンツフィルタリングで安心インターネット　□電波干渉注意ラベル
□製品保証書

● **CG-WLBARGNS-U**

□ CG-WLBARGNS 本体　□ CG-WLUSB300GNS　□ AC アダプタ
□ LAN ケーブル　□ USB フレキシブルケーブル
□お使いの手引き（本書）　□コンテンツフィルタリングで安心インターネット
□電波干渉注意ラベル　□製品保証書

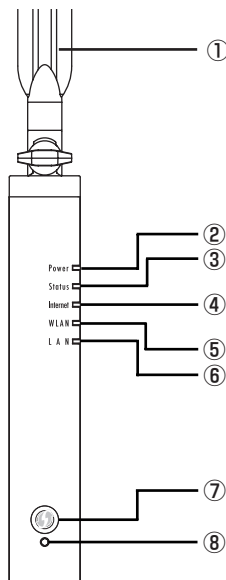
各部の名称と機能

● CG-WLBARGNS

■前面

①アンテナ
　電波の送受信部です。
② Power LED（青）
　点灯：本商品の電源が入っています。
　消灯：本商品の電源が入っていません。
③ Status LED（赤）
　点灯：セルフテスト中です。
　消灯：セルフテストの結果、正常に動作しています。

電源を入れてしばらくするとStatus LEDが点灯します。電源を入れて3分程経ってもStatus LEDが点灯したままになった場合は、セルフテストに失敗しています。もう一度電源を入れ直してください。

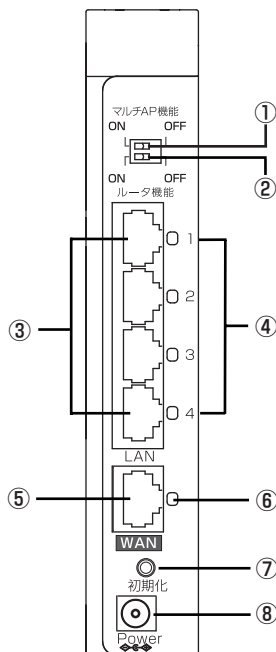
④ Internet LED（青）
　点灯：インターネットに接続しています。
　点滅：接続に失敗しています（PPPoE 接続時のみ）。
　消灯：インターネットに接続していないか、ルータ機能を OFF（無効）にしている状態です。
⑤ WLAN LED（青）
　点灯：無線通信ができる状態です。
　点滅：無線通信中です。
　消灯：無線通信ができない状態です。
⑥ LAN LED（青）
　点灯：本体背面の 1 ～ 4 のいずれかの LAN ポートが接続されています。
　点滅：データ通信中です。
　消灯：ケーブルが接続されていません。
⑦ WPS ボタン
　WPS（Wi-Fi Protected Setup）を設定するためのボタンです。
⑧ WPS LED（緑）
　WPS の設定状態が表示されます。
　点滅：WPS を設定中です。
　消灯：WPS を動作中または未設定です。

■背面

①マルチ AP 機能スイッチ
SSID を 2 つに分け、無線のセキュリティ設定をそれぞれ設定することができます。
ON：マルチ AP 機能は動作中です。
OFF：マルチ AP 機能は動作していません。

マルチAP機能スイッチの操作は、必ず本商品の電源を切った状態で行ってください。

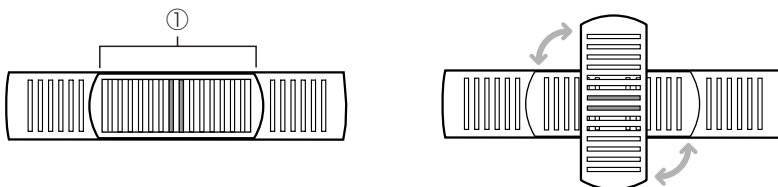
②ルータ機能スイッチ
ルータ機能をオンまたはオフにすることができます。
ON：ルータ機能はオンです。
OFF：ルータ機能はオフです。

ルータ機能スイッチの操作は、必ず本商品の電源を切った状態で行ってください。

③ LAN ポート（黄）
パソコンやハブを接続するためのポートです。
④ LAN ポート LED（緑）
LAN ポートの状態が表示されます。
点灯：100Mbps または 10Mbps でリンクが確立しています。
点滅：データ通信中です。
消灯：ケーブルが接続されていません。
⑤ WAN ポート（青）
モデムや光回線終端装置（ONU）など、既存のネットワーク（インターネット）につなぐためのポートです。
⑥ WAN ポート LED（緑）
点灯：100Mbps または 10Mbps でリンクが確立しています。
点滅：データ通信中です。
消灯：ケーブルが接続されていません。
⑦初期化ボタン
本商品の設定内容を工場出荷時の状態に戻す（初期化する）ことができます。詳しくは「ルータを工場出荷時の状態に戻せますか？」（P.65）をご覧ください。
⑧ DC ジャック
付属の専用 AC アダプタをつなぐためのコネクタです。

必ず付属の専用 AC アダプタをお使いください。

■底面

①スタンド

本商品を縦置きにするときに 90 度回転させてお使いください。

■左側面

①ゴム足

本商品を横置きにするときにお使いください。

②製品ラベル

商品名が記載されています。

③ファームウェアバージョンラベル

工場出荷時のファームウェアのバージョンが記載されています。

④シリアル番号ラベル

本商品のシリアル番号とリビジョンが記載されています。

⑤ IP アドレス（ルータ機能 ON）

ルータ機能 ON のときのルータ設定用LAN側IPアドレスが記載されています。

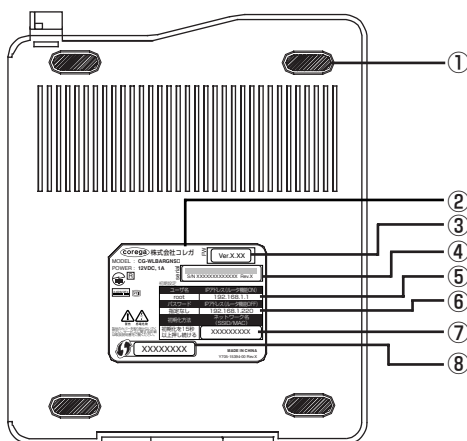
⑥ IP アドレス（ルータ機能 OFF）

ルータ機能 OFF のときのルータ設定用 LAN 側 IP アドレスが記載されています。実際にはお使いの環境によって LAN 側 IP アドレスは変更されます。詳しくは、P.21 の②をご覧ください。

⑦ MAC アドレスラベル（SSID）

本商品の MAC アドレスが記載されています。MAC アドレスは SSID と兼ねています。

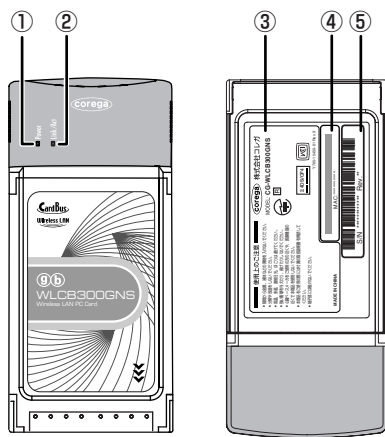
⑧初期 PIN コードラベル

本商品の無線LAN セキュリティの初期PINコード（ネットワークキー）が記載されています。

● CG-WLCB300GNS（CG-WLBARGNS-P のみ）

■前面

① Power LED（緑）
　点灯：電源が供給されています。
　消灯：電源が供給されていません。

② Link/Act LED（緑）
　点灯：接続しています。
　点滅：通信中です。
　消灯：接続していません。

■背面

③製品ラベル
　商品名が記載されています。

④ MAC アドレスラベル
　MACアドレスが記載されています。

⑤シリアル番号ラベル
　シリアル番号とリビジョンが記載されています。シリアル番号とリビジョンは、コレガサポートセンタへの問い合わせの際に必要になります。

● CG-WLUSB300GNS（CG-WLBARGNS-U のみ）

■前面

① Link/Act LED（緑）
　点灯：接続しています。
　点滅：通信中です。
　消灯：接続していません。

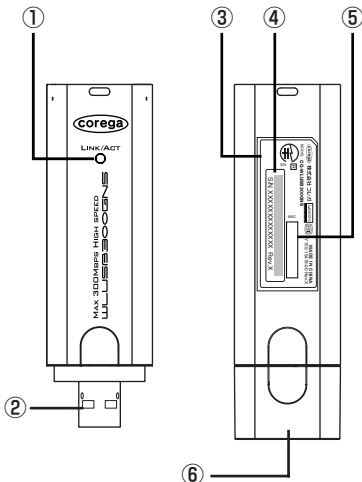
② USB プラグ
　パソコンの USB ポートに装着します。

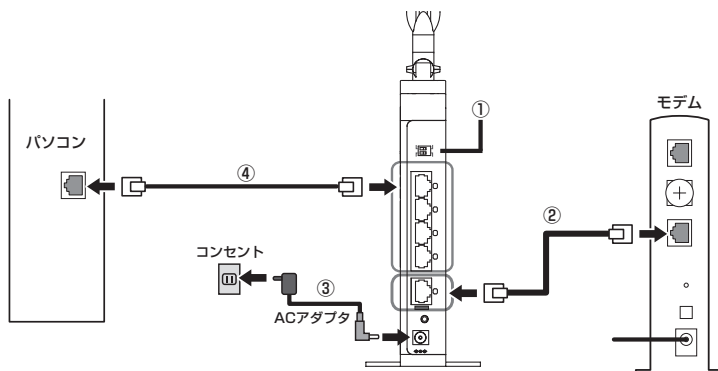
■背面

③製品ラベル
　商品名が記載されています。

④シリアル番号ラベル
　シリアル番号とリビジョンが記載されています。シリアル番号とリビジョンは、コレガサポートセンタへの問い合わせの際に必要になります。

⑤ MAC アドレスラベル
　MACアドレスが記載されています。

⑥キャップ
　使用しないときに装着し、USB プラグを保護します。

ルータをモデムに接続する

図のように本商品をモデム、回線終端装置（ONU）などに接続します。モデムにパソコンを接続して使用していた場合は、モデムの電源を切り、30分ほど時間を空けてから接続してください。

1　本商品背面のルータ機能スイッチが「ON」になっていることを確認します（①）。本商品のWANポートとモデムのLANポートをLANケーブルで接続します（②）。

メモ **モデムのポート名は「LAN」「PC」「パソコン」「ENET」「Ethernet」など、機種によって異なります。**

2　付属の専用ACアダプタを接続し、本商品の電源を入れます（③）。

注意 **必ず付属の専用ACアダプタをお使いください。専用ACアダプタ以外のACアダプタを本商品に接続しないでください。また、専用ACアダプタをほかの機器に接続しないでください。**

3　前面のPower LEDが点灯し、しばらくするとStatus LEDが点滅→消灯と変わり、本商品が起動したことを確認します。

注意 **本商品が起動するまでにおよそ2分程度かかります。本商品の起動が完了するまでしばらくお待ちください。**

4　LANケーブルで本商品にパソコンを接続します（④）。

次の手順からは、お使いの環境によって設定手順が異なります。次のフローチャートで手順を確認してください。

ルータをお使いの環境に合わせて設定する 本書P.17

2台目以降を接続する場合 本書P.24

メモ

複数台のパソコンをお持ちの場合は、はじめの1台のみ「ルータをお使いの環境に合わせて設定する」(P.17) をご覧になり、ルータを設定します。2台目以降のパソコンは、ルータを設定する必要はありません。

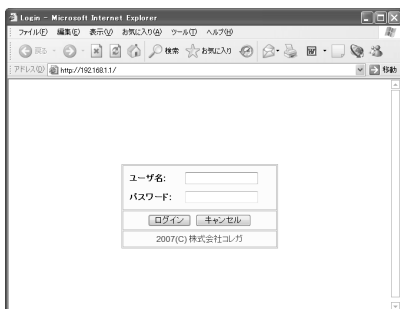
ルータをお使いの環境に合わせて設定する

本商品に接続した 1 台のパソコンから設定します。

- ウイルス対策ソフトやセキュリティ対策ソフトがパソコンにインストールされている場合は、本商品を正しく設定できない可能性があります。一時的に対策ソフトを停止してください。なお、対策ソフトの停止方法については、各ソフトウェアメーカにお問い合わせください。
- パソコンのIPアドレスが自動取得になっていることを確認してください。詳しい設定方法は、「パソコンの IP アドレスは自動取得になっていますか？」（P.59）をご覧ください。
- お使いのパソコンがプロキシサーバを使っていないかを確認してください。詳しい設定方法は、「プロキシサーバを使用していませんか？」（P.58）をご覧ください。

2

1　パソコンから Internet Explorer または Safari を起動し、設定画面を表示します（設定画面が表示されない場合はアドレス欄に「192.168.1.1」を入力し、Enter キーまたは return キーを押します）。

メモ

Internet Explorer 7をお使いの場合は次のメッセージが表示されることがありますがそのままお進みください（弊社で動作を確認しております）。

2　ユーザ名に「root」と入力し、パスワードに何も入力しないで［ログイン］をクリックします。

3　画面左側のメニューから「簡単設定」を選択します。

4　［次へ］をクリックします。

2

5　「自動」を選択し、［次へ］をクリックします。

6　お使いの回線の自動判別を開始し、結果が表示されます（お使いの環境によっては時間がかかる場合があります）。結果によって表示内容が異なり、次のどちらかの画面が表示されます。表示されない場合は、画面に従ってください。

①自動判別の結果が表示されるまで待ちます

②［次へ］をクリックします

③①での結果によって設定内容が異なります。お使いの環境に合わせて本書を読み進めます

- 「DHCP 接続」と表示された
　→手順 7（P.22）へ
- 「PPPoE 接続」と表示された
　→「PPPoE 接続の場合」（P.20）へ
- 「ルータ機能を搭載した機器が存在する」と表示された
　→「ほかにルータがある場合」（P.21）へ

■ PPPoE 接続の場合

①プロバイダから送付された書類をご覧になり、「接続ユーザ名」、「接続パスワード」を入力して［次へ］をクリックします。

・接続ユーザ名、接続パスワードは、プロバイダによって名称が異なります（認証 ID など）。プロバイダから送付された書類をご覧になり、入力してください。

・NTT フレッツ回線をご利用の場合は、接続ユーザ名は「XXX@XXX.XXX」となります。

②フレッツ・スクウェアをお使いの場合は「東日本」か「西日本」のどちらかを、お使いになっていない場合は「利用しない」を選択し、［次へ］をクリックします。

③手順 7（P.22）へお進みください。

■ほかにルータがある場合

①本商品のルータ機能を無効にします。［次へ］をクリックします。

②本商品のIPアドレスを変更します。変更されたIPアドレスをメモに控え、［お気に入りに登録］ー［保存］の順にクリックします。

③次の画面が表示されます。［OK］をクリックしたあと、手動でパソコンを再起動します。

注意

設定後は、本商品のIPアドレスが変更されます。Internet Explorerをお使いの場合は、「お気に入り」のリンクから設定画面を開いてください。Safariをお使いの場合は、変更後のIPアドレスを入力して設定画面を開いてください。

④手順９（P.23）へ進みます。

7　［保存］をクリックし、接続テストを実行します。

8　接続テストが正常に完了したことを確認し、［終了］をクリックします。

接続テストが正常に完了しなかった場合は、①に表示される内容を参考に設定をご確認ください。

- ネットスター株式会社の提供する「インターネット悪質サイトブロックサービス」（コンテンツフィルタリング）の詳しい説明は、画面のバナーをクリックしてください。また、同梱の「コンテンツフィルタリングで安心インターネット」もあわせてご覧ください。
- ダイナミックDNSやバーチャルサーバ（ポート開放）の設定を続ける場合は、この画面の［詳しい説明書を入手する］をクリックし、「詳細設定ガイド」（PDFマニュアル）をダウンロードして、設定してください。

9　Internet ExplorerまたはSafariを起動し、アドレス欄に「http://corega.jp/」を入力し、Enter キーまたは return キーを押します。

10　コレガホームページが表示されたことを確認します（画面は2007年11月現在のものです）。

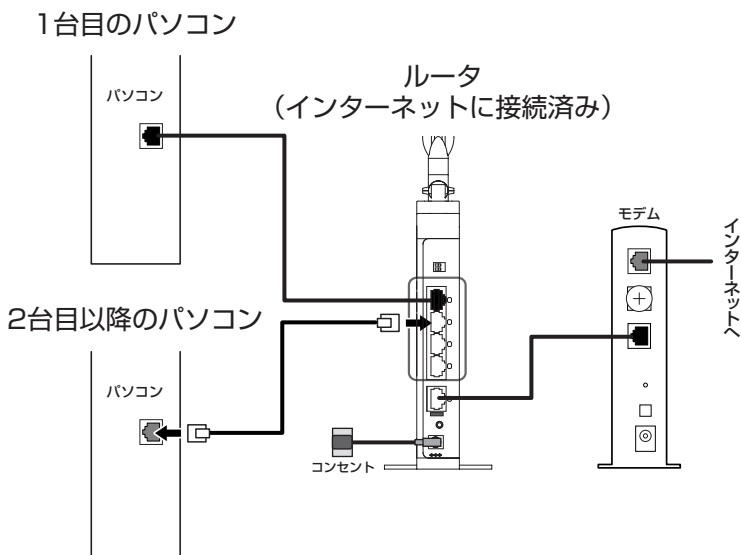
以上でインターネットへの接続が完了しました。

2台目以降を有線LANで接続する

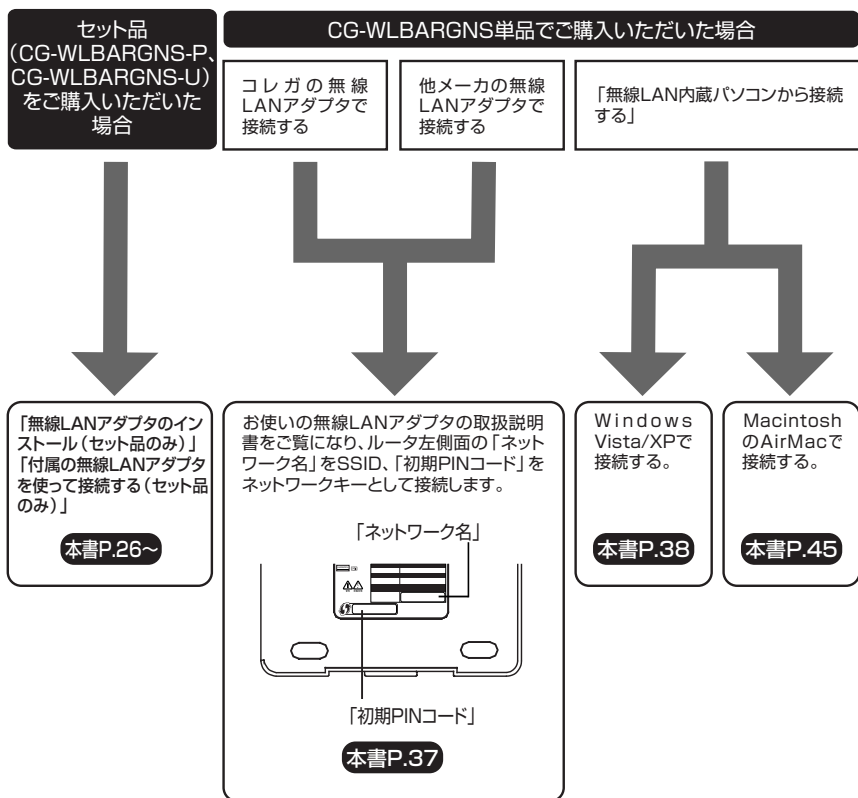
本商品の設定を完了し、インターネットに接続できることを確認し、次の図のように、2台目以降のパソコンのLANポートと本商品のLANポートとを、LANケーブル（別途ご用意ください）で接続します。以上で、2台目以降のパソコンとの接続は完了です。

2

- ウイルス対策ソフトやセキュリティ対策ソフトがパソコンにインストールされている場合は、本商品を正しく設定できない可能性があります。一時的に対策ソフトを停止してください。なお、対策ソフトの停止方法については、各ソフトウェアメーカにお問い合わせください。
- パソコンのIPアドレスが自動取得になっていることを確認してください。詳しい設定方法は、「パソコンのIPアドレスは自動取得になっていますか？」（P.59）をご覧ください。
- お使いのパソコンがプロキシサーバを使っていないかを確認してください。詳しい設定方法は、「プロキシサーバを使用ていませんか？」（P.58）をご覧ください。

■2台目以降のパソコンの接続例

PART3　無線LANで接続する

無線LANパソコンを本商品に接続する前に、お使いのパソコン1台で本商品の設定「ルータをお使いの環境に合わせて設定する」（P.17）が完了して、インターネットに接続できることを確認してください。
無線LANパソコンを本商品に接続するには、次のフローチャートに従って、お使いの環境に合わせて無線LANを設定してください。

3

無線LANアダプタのインストール（セット品のみ）

セット品（CG-WLBARGNS-PまたはCG-WLBARGNS-U）には無線LANアダプタ（CG-WLCB300GNSまたはCG-WLUSB300GNS）が付属しています。インターネット接続が完了したら、無線LANアダプタと本商品を接続します。

ウィルス対策ソフトやセキュリティ対策ソフトがパソコンにインストールされている場合は、ユーティリティディスク（CD-ROM）が起動しない場合があります。一時的に対策ソフトを停止してユーティリティディスク（CD-ROM）を起動してください。なお、対策ソフトの停止方法については、各ソフトウェアメーカにお問い合わせください。

・Windows Vistaをお使いの場合

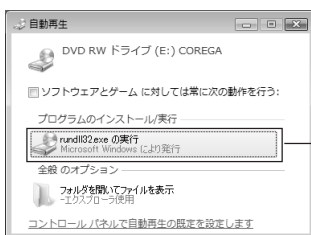
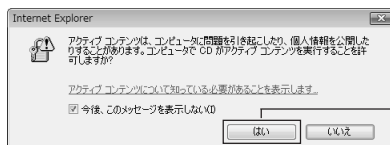
→「● Windows Vistaの場合」（P.26）へ

・Windows XP/2000をお使いの場合

→「● Windows XP/2000の場合」（P.31）へ

● Windows Vistaの場合

1　付属のユーティリティディスク（CD-ROM）をパソコンのCD-ROMドライブにセットします。

・Windows Vistaでは次の画面が表示されます。「rundll32.exeの実行」をクリックし、続けて「ユーザー アカウント制御」画面の［許可］をクリックします。

・次の画面が表示された場合は、［はい］をクリックします。

2　［かんたんスタート］をクリックします。

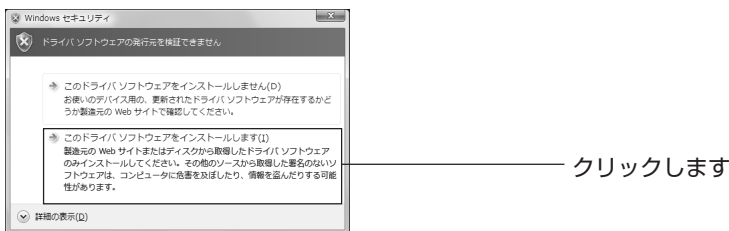
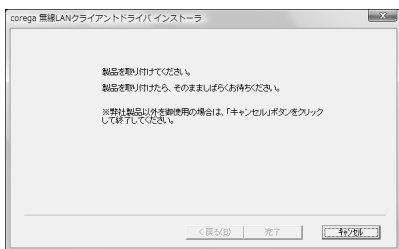
メモ しばらく待っても画面が表示されない場合は、「コンピュータ」（「マイ コンピュータ」）の CD-ROM のアイコンをダブルクリックしてください。

3　［インストール開始］をクリックします。

4　［次へ］をクリックします。

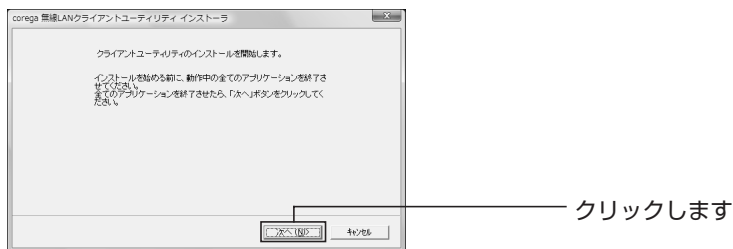
3

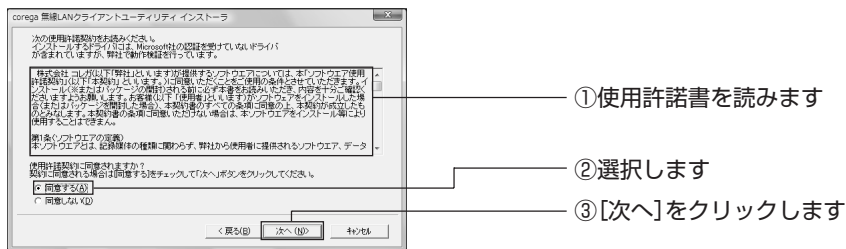
5　使用許諾書をご覧になり、[使用許諾契約の全条項に同意します] を選択したあと、[次へ] をクリックします。

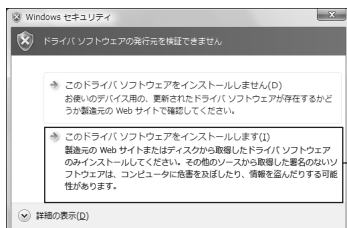
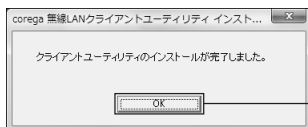
6　次の画面が複数回表示されます。「このドライバソフトウェアをインストールします」をクリックします（弊社で動作を確認しています）。

7　次の画面が表示されますので、お使いのパソコンに無線LANアダプタを取り付けます。

無線 LAN アダプタの取り付けは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧になり、取り付けてください。

8　ドライバのインストールが始まります。次の画面が表示されるまでお待ちください。
表示されたら［完了］をクリックします。

以上でドライバのインストールは完了です。
引き続きユーティリティのインストールが始まります。

9　［次へ］をクリックします。

10　使用許諾書をご覧になり、［同意する］を選択したあと、［次へ］をクリックします。

3

11 ［次へ］をクリックします。
クライアントユーティリティの保存先を指定する場合は、[参照] をクリックして保存先を指定します。

12 次の画面が表示されます。「このドライバソフトウェアをインストールします」をクリックします（弊社で動作を確認しています）。

13 クライアントユーティリティのインストールが始まります。次の画面が表示されるまでお待ちください。表示されたら［OK］をクリックします。

これでインストールは完了です。引き続き「付属の無線 LAN アダプタを使って接続する（セット品のみ)」（P.34）へお進みください。

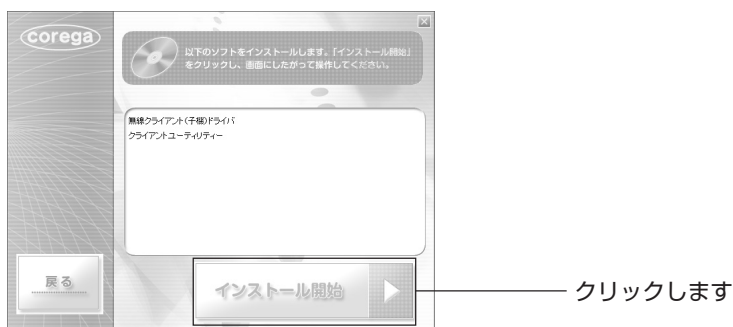
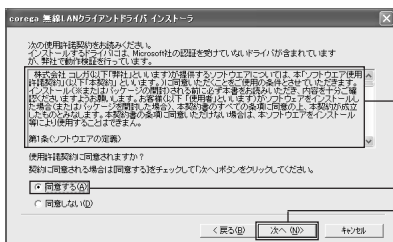
3

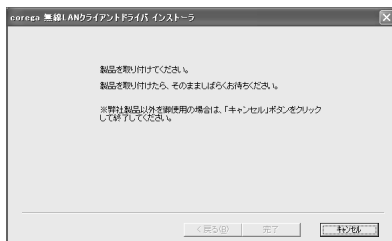
● Windows XP/2000 の場合

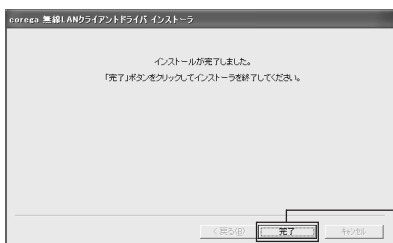
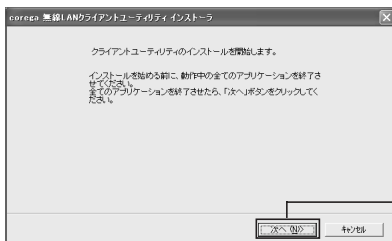
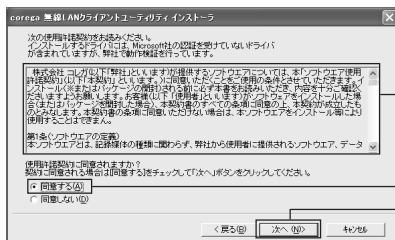
1　付属のユーティリティディスク（CD-ROM）をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。

2　［かんたんスタート］をクリックします。

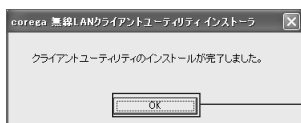
しばらく待っても画面が表示されない場合は、「コンピュータ」（「マイ コンピュータ」）の CD-ROM のアイコンをダブルクリックしてください。

3　［インストール開始］をクリックします。

4　［次へ］をクリックします。

5　使用許諾書をご覧になり、[同意する] を選択したあと、[次へ] をクリックします。

6　次の画面が表示されますので、お使いのパソコンに無線LANアダプタを取り付けます。

無線 LAN アダプタの取り付けは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧になり、取り付けてください。

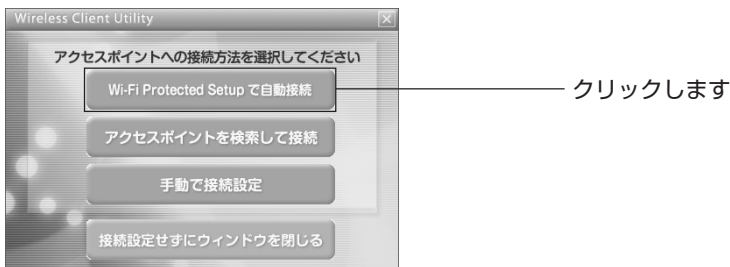
7　ドライバのインストールが始まります。次の画面が表示されるまでお待ちください。表示されたら［完了］をクリックします。

以上でドライバのインストールは完了です。
引き続きユーティリティのインストールが始まります（次ページ）。

8　［次へ］をクリックします。

9　使用許諾書をご覧になり、［同意する］を選択したあと、［次へ］をクリックします。

10［次へ］をクリックします。
クライアントユーティリティの保存先を指定する場合は、［参照］をクリックして保存先を指定します。

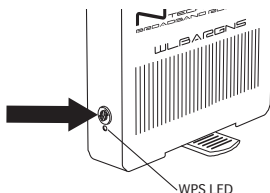
11 クライアントユーティリティのインストールが始まります。次の画面が表示されるまでお待ちください。表示されたら［OK］をクリックします。

以上でインストールは完了です。引き続き「付属の無線LANアダプタを使って接続する（セット品のみ）」（次ページ）へお進みください。

3

付属の無線LANアダプタを使って接続する（セット品のみ）

1　「無線クライアントユーティリティ」インストール直後の画面で[Wi-Fi Protected Setup で自動接続]をクリックします。

・WPSを使わないで接続する場合は、「手動で接続する」（P.37）をご覧ください。
・この画面は「無線クライアントユーティリティ」のトップ画面から「プロファイルの管理」－「新規追加」をクリックして表示させることができます。

2　［プッシュボタンによる接続］をクリックします。

3　本商品前面のWPSボタンを２秒以上押し、WPS LEDが緑色に点滅したことを確認します。

WPS LEDの動作は次の表を参考にしてください(数字はおよその秒数を表します)。

4 [Wi-Fi PROTECTED SETUP] をクリックします。

信号を受信しやすいように本商品と無線LANアダプタを取り付けたパソコンを近づけてください。

5 アクセスポイントの検索が始まります。

検索は2分間行いますが、お使いの環境によって時間がかかる場合があります。

6 引き続き設定の読み込みが始まります。

3

7　「設定完了」と表示されたら［閉じる］をクリックします。

クリックします

注意　**「設定に失敗しました」と表示された場合は、［戻る］をクリックし、はじめからやり直してください。**

＜設定に失敗した場合＞

クリックします

8　「XXXのアクセスポイントに接続しています」と表示されれば接続完了です。画面右上の ✕ をクリックして、クライアントユーティリティとインストール画面を閉じます。

メモ　**インストール後は、パソコンの画面右下タスクトレイのアイコンをクリックすると、クライアントユーティリティを表示させることができます。**

手動で接続する

弊社製無線LANアダプタ（USB、PCカードなど）、他社の無線LANアダプタをお使いの場合、または各パソコンメーカや周辺機器メーカ独自の無線LAN設定ユーティリティで、本商品に接続する場合は、無線ＬＡＮアダプタに次の項目を設定してください。

ネットワーク名（SSID）	本体左側面の「ネットワーク名」に記載
ネットワーク認証（暗号方式）	WPA-PSK
ネットワークキー（パスフレーズ）	本体左側面の「初期PINコード」に記載

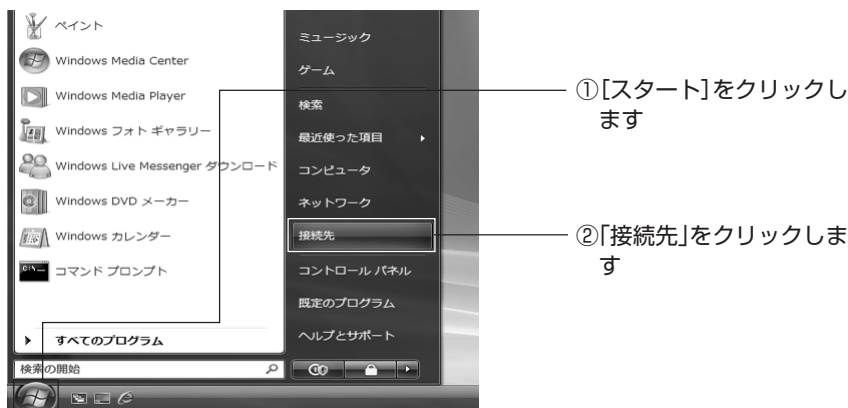
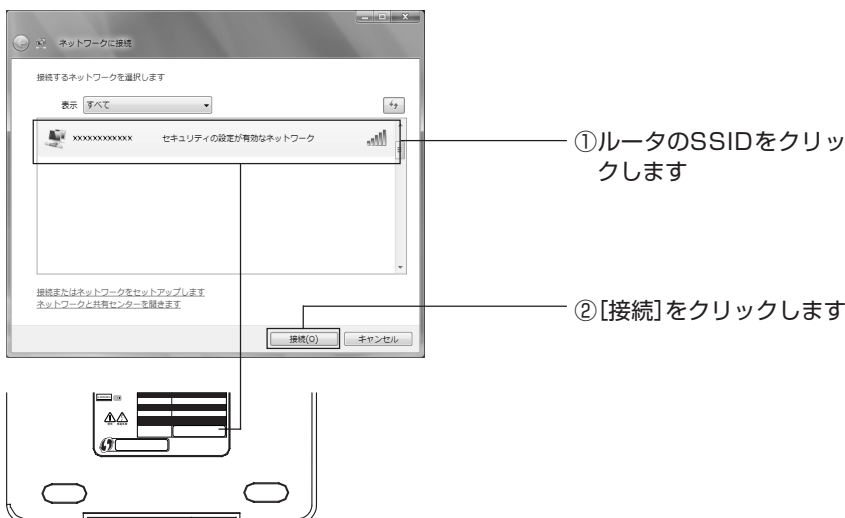
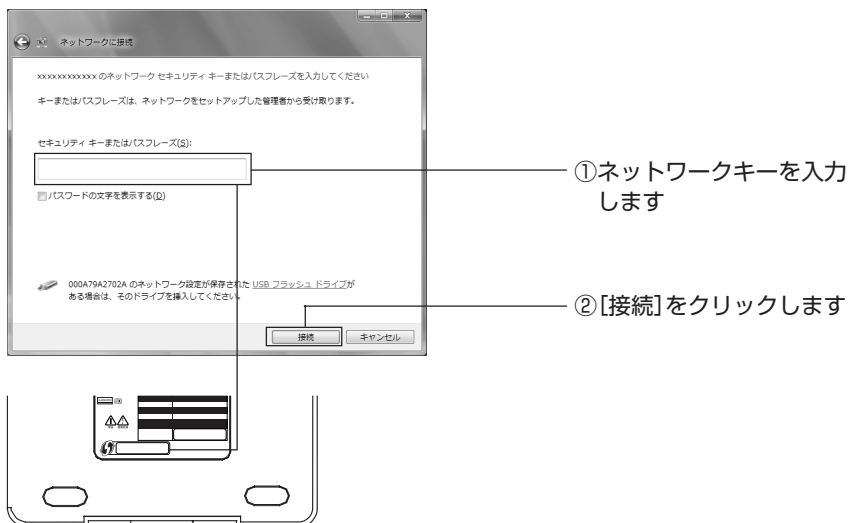
設定完了後、各設定ユーティリティで、ネットワークに接続できることを確認してください。

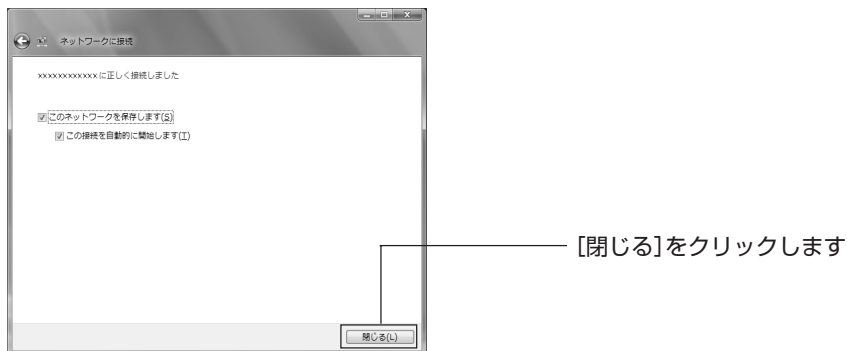
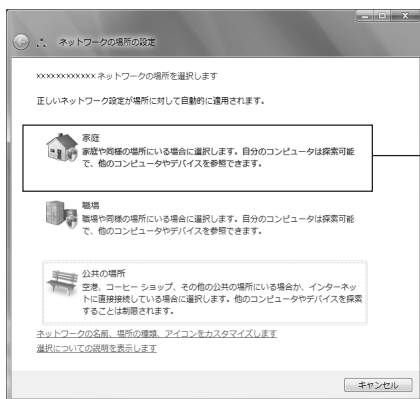
3

Windows の内蔵無線 LAN で接続する

お使いの環境がWindows Vista/XPで内蔵無線LANを搭載している場合、次の手順で本商品に接続します。Windows XP をお使いの場合は、「WIndows XP（SP2）の場合」（P.41）をご覧ください。

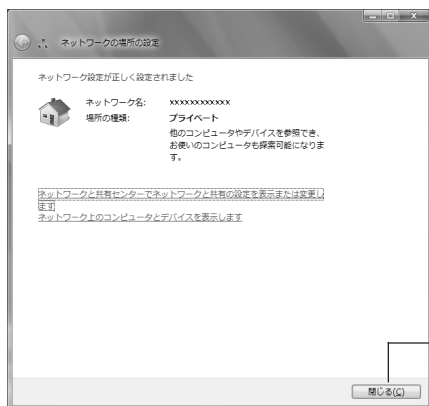
● Windows Vista の場合

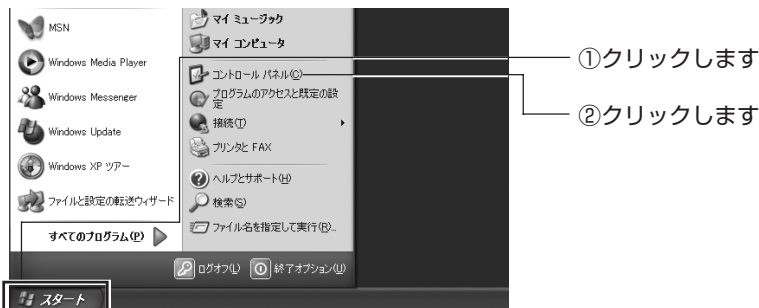
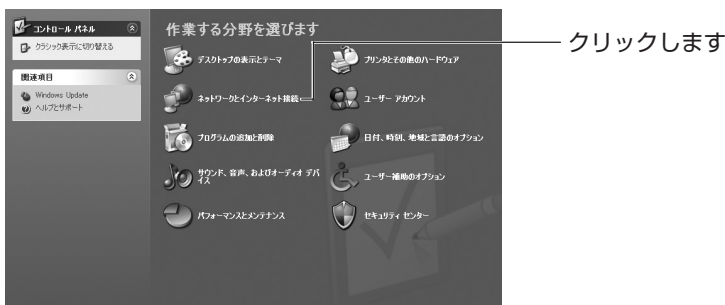
1　パソコンの画面左側の［スタート］－「接続先」の順にクリックします。

2　一覧からルータのSSID（本体左側面の「ネットワーク名」をご覧ください）を選択し、［接続］をクリックします。

3　セキュリティキーまたはパスフレーズ（本体左側面の初期PINコードラベルをご覧ください）を入力し、［接続］をクリックします。

4　「XXXXX に正しく接続しました」（XXXXX は手順 2 で選択したネットワーク名）と表示されたことを確認して、［閉じる］をクリックします。

3

5　使用場所を選択する画面が表示されます。通常は「家庭」を選択します。

6　「ユーザアカウント制御」画面が表示されます。「続行」をクリックします。

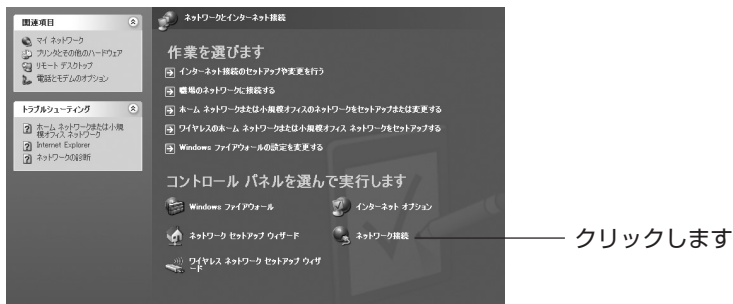
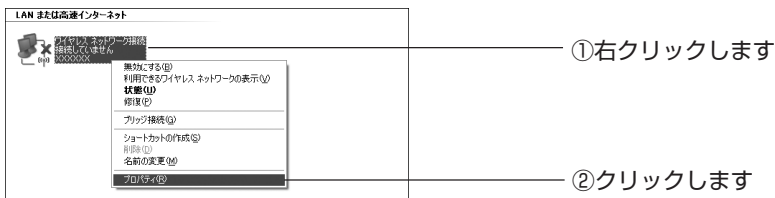
7　「ネットワーク設定が正しく設定されました」と表示されます。[閉じる] をクリックします。

以上で設定は完了です。

3

● Windows XP（SP2）の場合

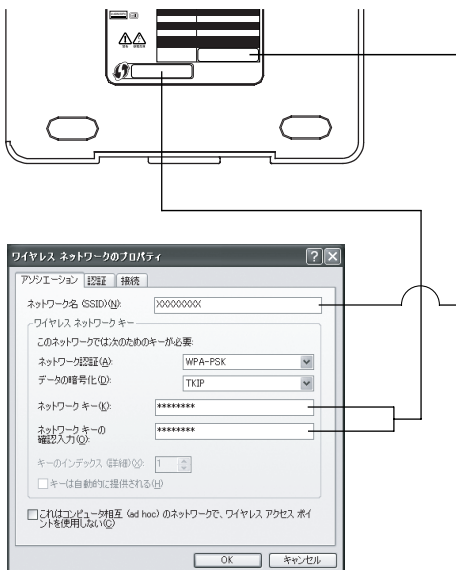
1　パソコンの画面左側の［スタート］－「コントロールパネル」の順にクリックします。

2　「ネットワークとインターネット接続」をクリックします。

クラシック表示の場合は、「ネットワーク接続」をクリックして、手順４に進みます。

3　「ネットワーク接続」をクリックします。

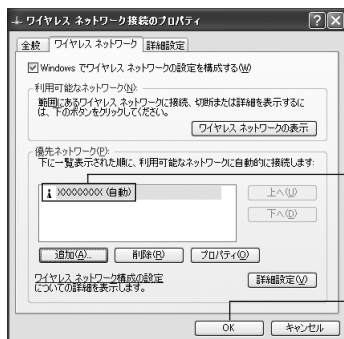
3

4 「ワイヤレスネットワーク接続」を右クリックして、プロパティをクリックします。

5 「ワイヤレスネットワーク」のタブをクリックして、「Windows でワイヤレスネットワークの設定を構成する」にチェックを付け、［追加］をクリックします。

6 「アソシエーション」のタブをクリックします。

3

7　①ネットワーク名（SSID）と②ネットワークキー（本体左側面の「ネットワーク名（SSID）」と「初期 PIN コードラベル」をご覧ください）を入力します。

ネットワーク名（SSID）	本体左側面の「ネットワーク名」に記載
ネットワーク認証（暗号方式）	WPA-PSK
ネットワークキー（パスフレーズ）	本体左側面の「初期PINコード」に記載

8　「優先ネットワーク」に追加されたことを確認して、[OK] をクリックします。

3

9　接続されていることを確認するため、再度手順４の「ネットワーク接続」画面を開き、「ワイヤレスネットワーク接続」をダブルクリックします。

10 ワイヤレスネットワークが正常に設定されていることを確認します。

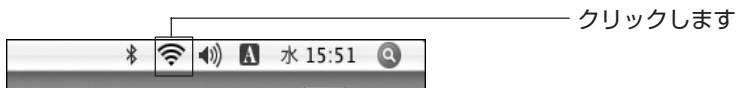
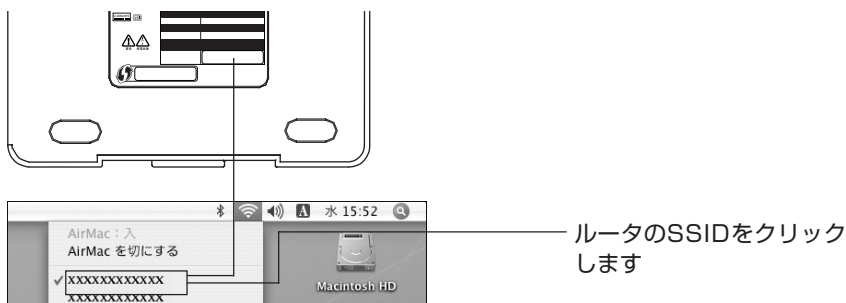
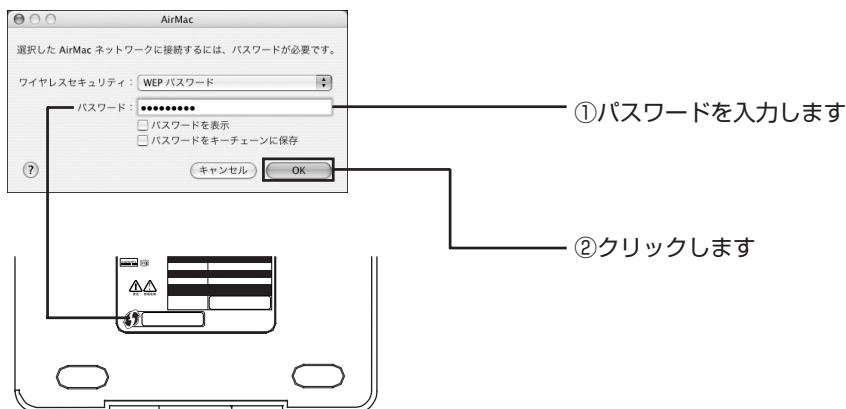
以上で設定は完了です。

インターネットに接続できることを確認します。

3

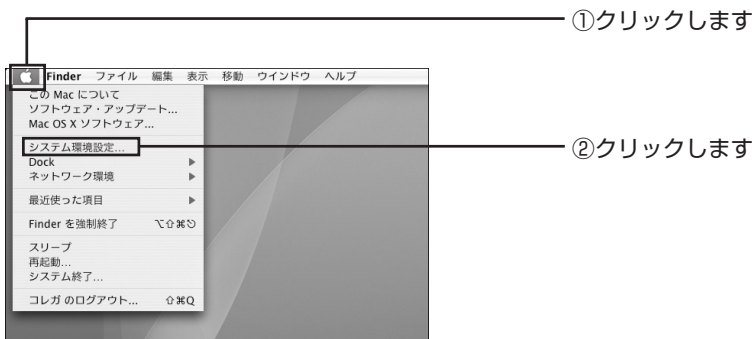
AirMac（Macintoshの内蔵無線LAN）で接続する

お使いの環境が Mac OS X（10.4 以降）で AirMac（内蔵無線 LAN）を搭載している場合は、次の手順でルータに接続します。

1　画面右上のタスクバーにある をクリックします。

2　一覧からルータの SSID（本体左側面の「ネットワーク名」をご覧ください）をクリックします。

3　パスワード（ルータ左側面の初期 PIN コードラベルをご覧ください）を入力し、［OK］をクリックします。

以上で設定は完了です。引き続き、インターネットに接続できることを確認します。

3

■接続の確認

1　画面左上の をクリックし、「システム環境」をクリックします。

2　「ネットワーク」をクリックします。

3　インターネットに接続されていることを確認します。

以上で接続は完了です。

ゲーム機を接続する

ゲーム機を本商品に接続します。各ゲーム機で使用できるセキュリティは、次の表で確認してください。

ゲーム機	設定可能セキュリティ
PLAYSTATION3	WEP 64bit/128bit, WPA-PSK, WPA-PSK2
PSP	WEP 64bit/128bit, WPA-PSK
Xbox360	WEP 64bit/128bit, WPA-PSK
Wii	WEP 64bit/128bit, WPA-PSK, WPA-PSK2
ニンテンドーDS※	WEP 64bit/128bit

※ニンテンドーDSはWPA-PSKが使えないため、マルチAP機能を使ってセカンドSSIDに接続することをお勧めします（P.52）。

ゲーム機によっては接続がSharedKeyであったり、暗号キーがASCII文字だと接続できない場合があります。その場合は、ほかのセキュリティを試してください。

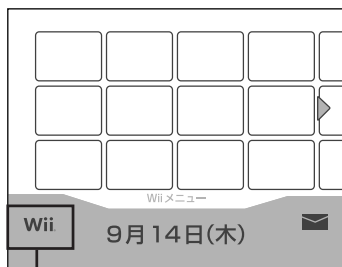
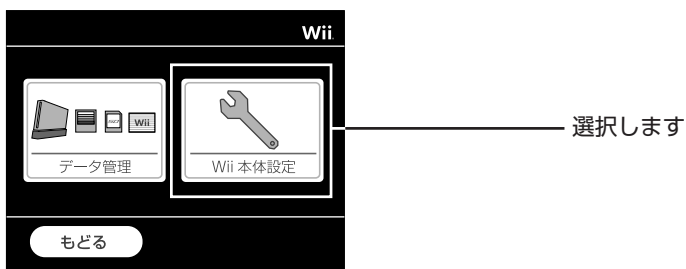
WEP や WPA に設定できる文字は、64bit-16 進数（0-9/a-f）、128bit-16 進数（0-9/a-f）、64bit-ASCII（半角英数記号）、128bit-ASCII（半角英数記号）です。

● Wii を接続する

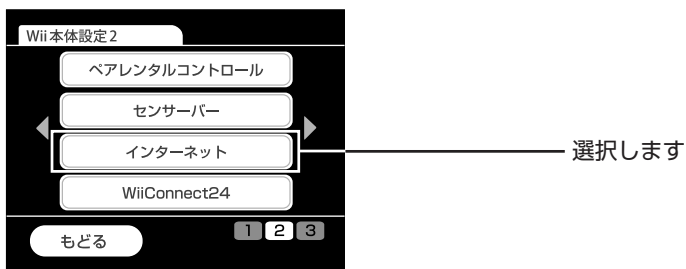
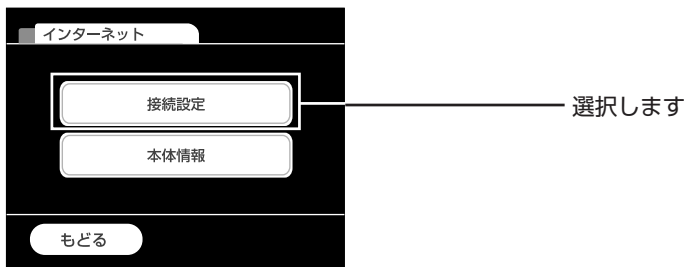
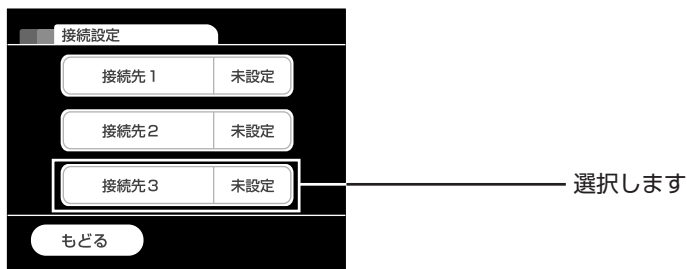
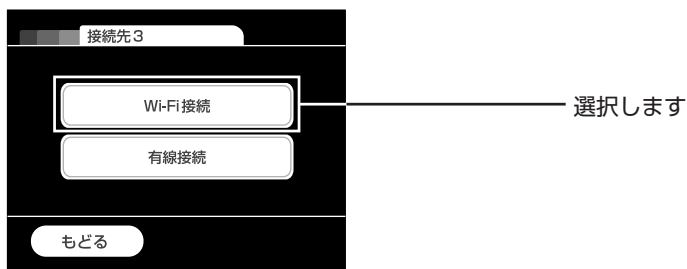
本商品にゲーム機を接続する方法の例として、「Wii」での接続を説明します。

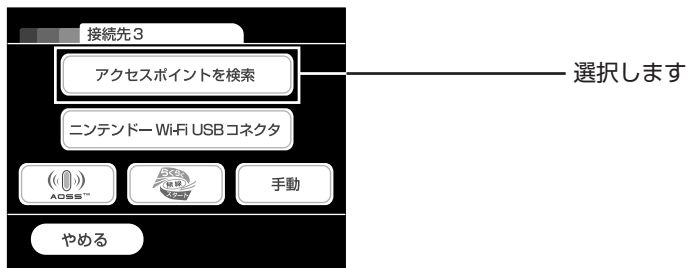
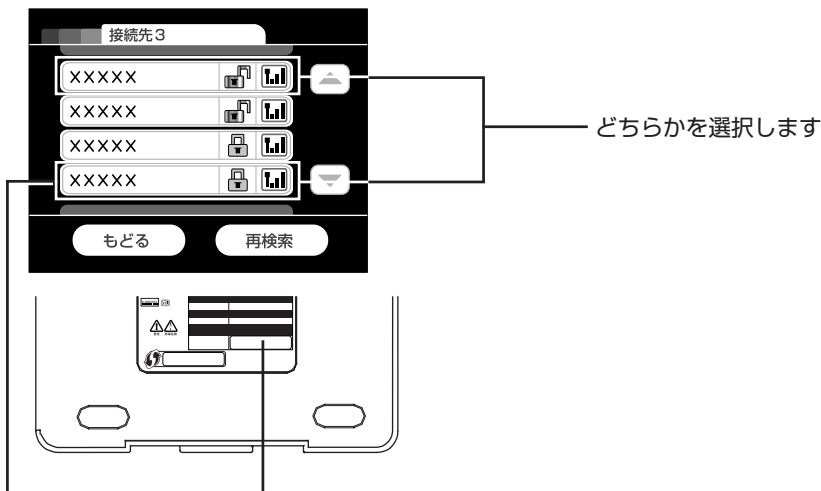
1　Wii の電源を入れ、Ⓐボタンを押します。

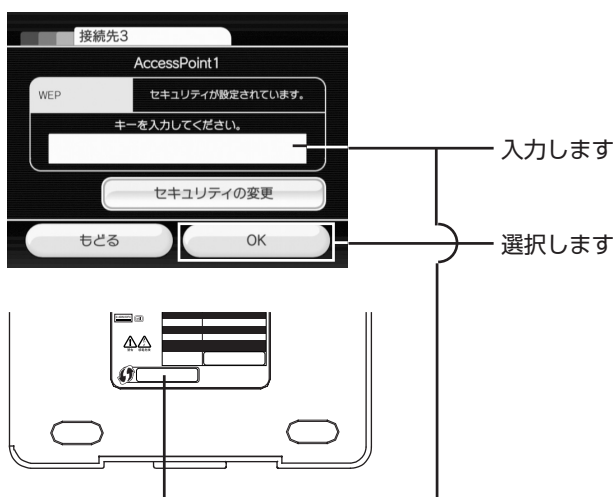
2　［Wii］（「Wii オプション」）を選択し、Ⓐボタンを押します。

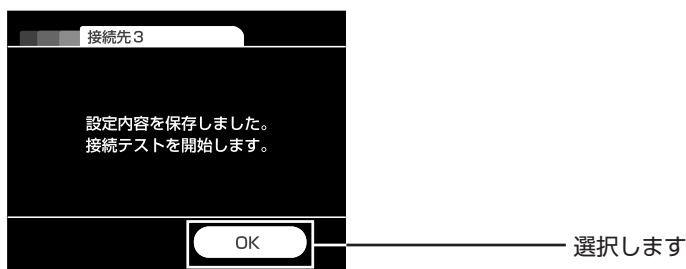
3

3 ［Wii 本体設定］を選択し、Ⓐボタンを押します。

4 ［インターネット］を選択し、Ⓐボタンを押します。

5 ［接続設定］を選択し、Ⓐボタンを押します。

3

6　「未設定」の［接続先］を選択し、Ⓐボタンを押します。

7　［Wi-Fi 接続］を選択し、Ⓐボタンを押します。

8　［アクセスポイントを検索］を選択し、Ⓐボタンを押します。

3

9　一覧の中からルータのSSID（ルータの左側面の「ネットワーク名」をご覧ください）または「CG-Guest」を選択し、Ⓐボタンを押します。

・CG-Guestはマルチ AP機能を使用して、セカンドSSIDに接続するときに選択します（P.52）。
・ルータのSSIDを選択すると、セキュリティキーを入力する画面が表示されます。キー（ルータ左側面の「初期PINコードラベル」をご覧ください）を入力して、[OK]を選択し、Ⓐボタンを押します。

3

10「この内容を保存します。よろしいですか？」と表示されます。[OK]を選択し、Ⓐボタンを押します。

11「設定内容を保存しました。接続テストを開始します。」と表示されます。[OK] を選択し、Ⓐボタンを押します。

12「Wii本体を更新しますか？」と表示されます。[はい] を選択し、Ⓐボタンを押します。

- 接続に失敗している場合は、正しいSSIDを選択していないか、WEPキーを誤って入力している可能性があります。手順6からやり直してください。
- セカンドSSIDはWEP（64/128bit）のセキュリティを設定することができます。設定手順は本商品の「詳細設定ガイド」（PDFマニュアル）をご覧ください（「詳細設定ガイド」の入手方法はP.67で紹介しています）。

以上で設定は完了です。

3

マルチ AP 機能を使う

本商品は、本体背面のマルチ AP 機能スイッチを切り替えることによって、SSID を２つ搭載できます（工場出荷時の状態では ON になっています）。
マルチ AP 機能スイッチを ON にすると SSID は２つ（ファースト SSID とセカンド SSID）となり、それぞれ異なるセキュリティ設定をすることができます。特定のセキュリティにのみ対応しているニンテンドー DS などのゲーム機などを接続する場合などに便利です。

○ファースト SSID とセカンド SSID の違い

ファースト SSID とセカンド SSID は次の表のような違いがあります。

	設定画面の表示	インターネット接続	LANへの接続	設定できる無線セキュリティ
ファーストSSID	○	○	○	WEP（64/128）、WPA-PSK、WPS
セカンドSSID	×	○	×	WEP（64/128bit）

- **本商品のルータ機能が OFF の場合、マルチ AP 機能は使用できません。**
- **セカンド SSID では UPnP 機能は使用できません。UPnP 機能を使うソフトウェアを使用する場合は、ファースト SSID をお使いください。**

工場出荷時の設定は「ON」です。

○マルチ AP 機能スイッチの状態と工場出荷時の SSID

マルチ AP 機能スイッチの状態によって SSID は次の表のようになります。

「マルチAP機能」スイッチの状態	SSIDの数	工場出荷時のSSID	
ON	2	ファーストSSID	本体左側面の製品ラベル内「ネットワーク名」に記載
		セカンドSSID	「CG-Guest」
OFF	1	本体左側面の製品ラベル内「ネットワーク名」に記載	

○マルチ AP 機能の基本接続

マルチ AP 機能を使用するための手順は次のとおりです。

マルチ AP 機能スイッチの操作は、必ず本商品の電源を切った状態で行ってください。

1　本体背面のマルチ AP 機能スイッチが「ON」になっていることを確認します。

2　お使いになる機器から無線アクセスポイントを検索します。

3　「CG-Guest」の SSID を選択し、接続します。

●ニンテンドー DS の設定

ニンテンドー DS をお使いの場合は、次の手順で設定します。

1　「Wi-Fi」または「Wi-Fi せってい」をタッチして「Wi-Fi コネクション設定」を表示します。

ゲームソフトによって「Wi-Fi コネクション設定」を表示される手順が異なります。お使いのゲームソフトの取扱説明書をご覧ください。

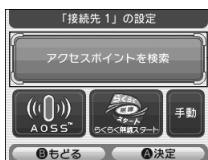
2　[Wi-Fi 接続設定] をタッチします。

[Wi-Fi接続設定]をタッチします

3

3　「未設定」の接続先をタッチします。

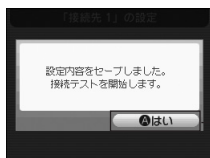
[未設定]をタッチします

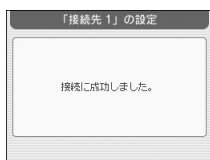
4　[アクセスポイントを検索］をタッチします。

[アクセスポイントを検索]をタッチします

5　一覧の中から「CG-Guest」をタッチします。

「CG-Guest」をタッチします

- セカンドSSIDのネットワーク名を「CG-Guest」から変更した場合は、変更後の値をタッチしてください。
- が表示されている場合は、WEPキー入力画面が表示されます。設定しているネットワークキーを入力します。

6　［はい］をタッチし、接続テストをはじめます。

［はい］をタッチします

7　「接続に成功しました。」と表示されたら設定完了です。

接続に失敗した場合は、正しい SSID をタッチしていないか、または WEP キーを誤って入力している可能性があります。手順 5 から設定をやり直してください。

3

トラブル解決と Q&A

このPARTでは、お客様からトラブルのときによくお問い合わせのある質問を記載しています。回答が記載されていない場合は、「トラブル・疑問が解決しないときは」(P.69)をご覧になり、コレガサポートセンタまでお問い合わせください。

ルータのトラブル

ルータの設定ができない

●セキュリティソフトが動作していませんか?

セキュリティソフトが動作していると、本商品の設定ができない場合があります。設定する場合は、一時的にパソコンのセキュリティソフトの動作を停止させてください。停止方法はお使いのセキュリティソフトの取扱説明書をご覧ください。

ご購入時にすでにセキュリティソフトがインストールされていたパソコンは、パソコンメーカへお問い合わせください。

●OSのファイアウォール機能が動作していませんか?(Windows Vista/XP SP2のみ)

OS のファイアウォール機能が動作していると、本商品の設定ができない場合があります。次の手順で一時的にファイアウォール機能を停止させてください。

本商品の設定が完了後、必ずWindows ファイアウォールの設定を元に戻してください。

＜Windows Vistaの場合＞

1 [スタート]－「コントロールパネル」の順に選択します。

2 「セキュリティ」の「Windows ファイアウォールによるプログラムの許可」をクリックします。

3 「ユーザー アカウント制御」画面が表示されます。[続行]をクリックします。

4 「Windows ファイアウォール」画面の「全般」タブを選択し、「無効(推奨されません)」にチェックを付けて[OK]をクリックします。

< Windows XP SP2 の場合>

1　「スタート」－「コントロール パネル」の順に選択します。

2　「セキュリティ センター」－「Windows ファイアウォール」（画面の下方にあります）の順にダブルクリックします。クラシック表示を使用している場合は、「Windows ファイアウォール」をダブルクリックします。

3　「Windows ファイアウォール」画面の「全般」タブを選択し、「無効（推奨されません）」にチェックを付けて［OK］をクリックします。

●ダイヤルアップ接続の設定や LAN の設定がされていませんか？

次の手順で本商品に接続するすべてのパソコンのInternet Explorerの設定をご確認ください。

1　Internet Explorer を起動し、「ツール」－「インターネットオプション」を選択して「接続」タブを選択します。

2　「ダイヤルしない」が選択されているか、グレーの表示で選択できない状態であることを確認します。

3　［LAN の設定］をクリックし、「ローカル エリア ネットワーク（LAN）の設定」画面を開いてすべてのチェックが外されていることを確認します。

4　「ローカル エリア ネットワーク（LAN）の設定」画面の［OK］をクリックして画面を閉じ、インターネットオプション画面の［OK］をクリックして画面を閉じます。

● Internet Explorer がオフラインになっていませんか？

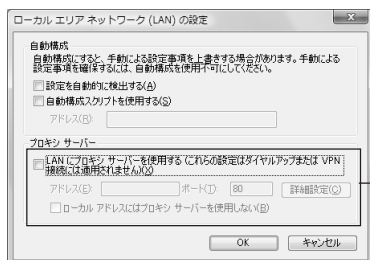
Internet Explorer を起動し、「ファイル」メニューにある「オフライン作業」のチェックが外れているか確認します。チェックが付いている場合は、チェックを外します。

●プロキシサーバを使用していませんか？

次の手順でプロキシサーバを使用していないかどうかを確認してください。

< Internet Explorer をお使いの場合>

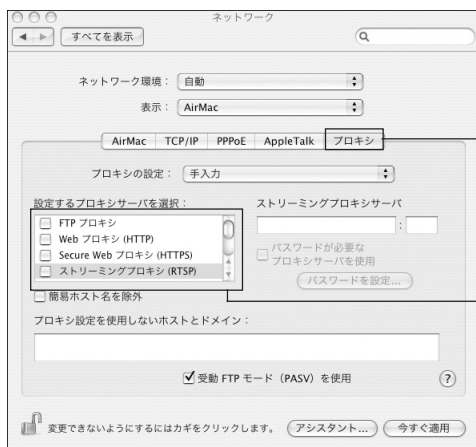
1　Internet Explorer を起動して、「ツール」－「インターネットオプション」を選択して「接続」タブを選択します。

2　「LAN 設定」をクリックし、「ローカル エリア ネットワーク（LAN）の設定」画面を開いて、プロキシサーバーの項目のチェックが外れているかどうかを確認してください。

＜ Safari をお使いの場合＞

1　画面左上の をクリックし、「システム環境設定」をクリックします。

2　システム環境設定画面の「ネットワーク」をクリックします。

3　「AirMac」をクリックします。

4　「プロキシ」タブを選択し、プロキシサーバを設定していないかを確認します。

●パソコンの IP アドレスは自動取得になっていますか？

次の手順で IP アドレスの設定をご確認ください。

＜ Windows Vista の場合＞

1　［スタート］－「コントロールパネル」－「ネットワークとインターネット」－「ネットワークと共有センタ」の順にクリックします。

「ネットワークとインターネット」が表示されていない場合は、「ネットワークと共有センタ」をクリックして手順2へお進みください。

2　画面左側から「ネットワーク接続の管理」をクリックします。

3　無線でお使いの場合は「ワイヤレス ネットワーク接続」を、有線でお使いの場合は「ローカル エリア接続」を右クリックし、［プロパティ］をクリックします。

4　「ユーザー アカウント制御」画面が表示されますので、［続行］をクリックします。

5　「この接続は次の項目を使用します」の一覧から「インターネット プロトコル バージョン４（TCP/IPv4）」を選択し、［プロパティ］をクリックします。

6　「IPアドレスを自動的に取得する」と「DNSサーバのアドレスを自動的に取得する」が選択されていることを確認します。

7　［OK］または［閉じる］をクリックし、「インターネット プロトコル バージョン４（TCP/IPv4）」－「ワイヤレス ネットワーク接続のプロパティ」（有線の場合は「ローカル エリア接続のプロパティ」）の順に画面を閉じます。

〈Windows XP の場合〉

1　「スタート」－「コントロールパネル」－「ネットワークとインターネット接続」－「ネットワーク接続」の順に選択します。

「ネットワークとインターネット接続」が表示されていない場合は、画面左側の「カテゴリの表示に切り替える」を選択します。

2　無線でお使いの場合は「ワイヤレス ネットワーク接続」を、有線でお使いの場合は「ローカル エリア接続」を右クリックし、「プロパティ」を選択します。

3　「この接続は次の項目を使用します」の一覧から「インターネット プロトコル（TCP/IP）」を選択し、［プロパティ］をクリックします。

4　「IPアドレスを自動的に取得する」と「DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する」が選択されていることを確認します。

5　［OK］または［閉じる］をクリックし、「インターネット プロトコル（TCP/IP）のプロパティ」－「ワイヤレス ネットワーク接続のプロパティ」（有線の場合は「ローカル エリア接続のプロパティ」）の順に画面を閉じます。

〈Windows 2000 の場合〉

1　「スタート」－「設定」－「コントロールパネル」の順に選択します。

2　「ネットワークとダイヤルアップ接続」をダブルクリックします。

3　「ローカルエリア接続」を右クリックし、「プロパティ」を選択します。

4　「インターネットプロトコル（TCP/IP）」を選択し、[プロパティ] をクリックします。

5　「IPアドレスを自動的に取得する」と「DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する」が選択されていることを確認します。

6　[OK] をクリックし、「インターネットプロトコル（TCP/IP）のプロパティ」－「ローカルエリア接続のプロパティ」の順に画面を閉じます。

〈Windows Me ／ 98SE の場合〉

1　「スタート」－「設定」－「コントロールパネル」の順に選択します。

2　「ネットワーク」をダブルクリックします。

メモ　**Windows Meで「ネットワーク」が表示されない場合は、「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する」を選択してください。**

3　「TCP/IP->xxxxx（お使いのネットワークアダプタ名が表示されます）」を選択し、[プロパティ] をクリックします。

4　「IPアドレス」タブを選択し、「IPアドレスを自動的に取得」が選択されていることを確認します。

5　[OK] をクリックし、「ネットワークのプロパティ」を閉じます。再起動を促すメッセージが表示された場合はパソコンを再起動します。

● Windows XP 用更新プログラム「KB893357」はインストールされていますか？

無線LAN内蔵パソコンからの接続のように、Windows XPに標準搭載されているワイヤレス ネットワークから接続する場合は、お使いの環境によって「次のネットワークにログインするのに必要な証明書が見つかりませんでした」と表示されます。その場合は、Windows XP用更新プログラム「KB893357」をインストールしてください。
検索サイトで「KB893357」で検索して、Microsoft社のホームページでダウンロードしてください。

●セカンドSSIDで設定された無線ネットワークではありませんか？

セカンドSSID（工場出荷時の設定では「CG-Guest」に設定されています）で設定された無線ネットワークでは、ルータの設定画面を表示させることができません。ファーストSSID（工場出荷時の設定ではルータ左側面の「ネットワーク名」に記載されています）で設定したパソコン、または有線で接続したパソコンで表示させてください。

無線LANアダプタのトラブル

内蔵無線LANが搭載されているパソコンにドライバをインストールした

お使いのパソコンに内蔵無線LANが搭載されている場合は、無線LANアダプタのドライバのインストールをする必要はありません。「無線クライアントユーティリティ 詳細設定ガイド」（PDFマニュアル）をご覧になり、ドライバの削除（アンインストール）をしてください。「無線クライアントユーティリティ 詳細設定ガイド」の表示方法は、「もっと詳しい取扱説明書はないの？」（P.67）をご覧ください。

ドライバをインストールしている途中でキャンセルしてしまった

●パソコンを再起動し、もう一度最初からやり直してください

ドライバをインストールしている途中でキャンセルをしてしまうと、ドライバが不完全な状態になり、無線LANアダプタを使用することができません。キャンセルをしてしまった場合はパソコンを再起動し、もう一度はじめからやり直してください。それでもインストールが完了できなかった場合は、コレガサポートセンタまでお問い合わせください。

無線LANアダプタを取り付けたらパソコンが動作しなくなった

インストール画面で無線LANアダプタをパソコンに取り付けるよう画面が表示されます。インストールはお使いの環境によって処理に時間がかかる場合がありますので、そのまましばらくお待ちください。5分程度待っても画面が切り替わらない場合は、パソコンの電源を切り、無線LANアダプタをパソコンから取り外し、インストールをはじめからやり直してください。

パソコンに無線LANアダプタを取り付けたままWindowsをリカバリしてしまった

●「不明なデバイス」を削除してください

無線LANアダプタを取り付けたままリカバリをしてしまうと、無線LANアダプタの情報がパソコンに残ってしまいます。次の手順でドライバを削除し、一度無線LANアダプタを取り外してから、「無線LANアダプタのインストール（セット品のみ）」（P.26）をご覧になり、インストールをやり直してください。

〈Windows Vistaの場合〉

1　無線LANアダプタをパソコンに取り付け、［スタート］をクリックします。

2　「マイコンピュータ」を右クリックし、「プロパティ」をクリックします。

3　画面左側から「デバイスマネージャ」をクリックします。

4　「ユーザー アカウント制御」画面が表示されますので、[続行] をクリックします。

5　「ほかのデバイス」をダブルクリックします。

6　「ほかのデバイス」の下に表示された「デバイス名」を右クリックし、「削除」をクリックします。

「デバイス名」はお使いの環境によって表示される名称が異なります。

7　無線LANアダプタをパソコンから取り外します。

〈Windows XPの場合〉

1　無線LANアダプタをパソコンに取り付け、「スタート」−「コントロールパネル」の順に選択し、「パフォーマンスとメンテナンス」−「システム」の順にダブルクリックします。

2　「ハードウェア」タブを選択し、[デバイス マネージャ] をクリックします。

3　「不明なデバイス」をダブルクリックします。

4　「不明なデバイス」の下に表示された「デバイス名」を右クリックし、「削除」を選択します。

「デバイス名」はお使いの環境によって表示される名称が異なります。

5　無線LANアダプタをパソコンから取り外します。

〈Windows 2000の場合〉

1　無線LANアダプタをパソコンに取り付け、「スタート」−「設定」−「コントロールパネル」の順に選択し、「システム」をダブルクリックします。

2　「ハードウェア」タブを選択し、[デバイス マネージャ] をクリックします。

3　「不明なデバイス」をダブルクリックします。

4　「不明なデバイス」の下に表示された「デバイス名」を右クリックし、「削除」を選択します。

「デバイス名」はお使いの環境によって表示される名称が異なります。

5　無線LANアダプタをパソコンから取り外します。

よくあるご質問

Q 無線LANのセキュリティは設定できるの？

A 設定できます。

本商品は、工場出荷時に次のセキュリティが設定されていますが、それ以外のセキュリティに変更したい場合は、お使いのパソコンからルータの設定画面を表示して、変更することができます。設定方法は、「詳細設定ガイド」をご覧ください。

ネットワーク名（SSID）	本体左側面の「ネットワーク名」に記載
ネットワーク認証（暗号方式）	WPA-PSK
ネットワークキー（パスフレーズ）	本体左側面の「初期PINコード」に記載

また、マルチAP機能をお使いの場合は、ファーストSSIDとセカンドSSIDの2つのSSIDをお使いになることができますが、セカンドSSIDで設定できるセキュリティは「WEP」のみです。設定方法は「詳細設定ガイド」をご覧ください。

Q 無線LAN内蔵のパソコンからは接続できないの？

A 接続できます。

パソコンに内蔵されている無線LANアダプタがIEEE802.11g/bに対応している必要があります。詳しくは、お使いのパソコンがWindowsの場合は「Windowsの内蔵無線LANで接続する」（P.38）、Macintoshの場合は「AirMac（Macintoshの内蔵無線LAN）で接続する」（P.45）をご覧ください。

Q ルータを工場出荷時の状態に戻せますか？

A はい。

本商品を工場出荷時の状態に戻すには、次の手順を行ってください。

1　本商品の電源が入っている状態で、クリップなど硬くて先の細いものを使用して、背面にある初期化スイッチを押します。

2　初期化スイッチを 15 秒以上押し、初期化スイッチを離します。

3　前面の Power LED が点灯し、しばらくすると Status LED が点灯→消灯に変わり、ルータが起動したことを確認します。

ルータが起動するまでにおよそ2分程度かかります。ルータの起動が完了するまでしばらくお待ちください。

以上で本商品が工場出荷時の状態に戻ります。

Q 無線 LAN アダプタの取り外し方法は？

A お使いの環境に合わせて無線 LAN アダプタを取り外してください。

無線 LAN アダプタをお使いのパソコンから取り外す場合は、次の手順で行ってください。

● Windows Vista の場合

1　パソコンの右下の をクリックし、「CG-WLCB300GNS（または CG-WLUSB300GNS）を安全に取り外します」をクリックします。

2　安全に取り外せる旨のメッセージが表示されたら、［OK］をクリックします。

3　無線 LAN アダプタをパソコンから取り外します。

● Windows XP/2000 の場合

1　パソコンの画面右下の を右クリックし、「終了」を選択します。

無線クライアントユーティリティ画面の右上の をクリックして画面を閉じてもユーティリティは終了していません。

2　パソコンの画面右下の をクリックし、「CG-WLCB300GNS（または CG-WLUSB300GNS）を安全に取り外します」（お使いの OS により、中止や停止という意味の内容になります）をクリックします。

3　安全に取り外せる旨のメッセージが表示されたら、 または ［OK］をクリックします。

4　無線 LAN アダプタをパソコンから取り外します。

Q 無線 LAN アダプタの設定画面を表示させる方法は？

A 「無線クライアントユーティリティ」のアイコンをダブルクリックしてください。

「無線クライアントユーティリティ」をインストールすると、パソコンの画面右下にが表示されます。このをダブルクリックすると設定画面を表示させることができます。

Q 無線 LAN アダプタのアンインストール方法は？

A 付属の「無線クライアントユーティリティ 詳細設定ガイド」をご覧ください。

セット品に付属の無線 LAN アダプタのアンインストール方法は、付属のユーティリティディスク収録の「無線クライアントユーティリティ 詳細設定ガイド」(PDFマニュアル) をご覧ください。

Q もっと詳しい取扱説明書はないの？

A はい。ご用意しております。

CG-WLBARGNS の詳細な機能や使用方法については、次の手順で「詳細設定ガイド」をダウンロードしてご覧ください。また、CG-WLCB300GNS または CG-WLUSB300GNSの詳細な機能や使用方法については、付属のユーティリティディスクからご覧になることもできます。

・「詳細設定ガイド」をご覧いただくには、お使いのパソコンにAdobe Readerがインストールされている必要があります。Adobe Readerがインストールされていない場合は、Adobeのサイトからダウンロードしてインストールしてください（Adobe Reader は無料でダウンロードできます)。
・「詳細設定ガイド」をダウンロードするには、インターネットに接続する必要がありますので、インターネットへの接続に問題がないか、ご確認ください。
・お使いの環境によっては、Web ブラウザの中に PDF ファイルが表示される場合があります。その場合は、[保存]（フロッピーディスクの形をしたボタン）をクリックすると、「詳細設定ガイド」をパソコンに保存することができます。

●コレガのホームページからダウンロードする

1　Internet ExplorerまたはSafariを起動し、アドレス欄に「http://corega.jp/」（「 」は不要です）と入力してEnterキーまたはreturnキーを押します。

2　「製品情報」から「無線LAN」を選択します。

3　「CG-WLBARGNS」、「CG-WLBARGNS-P」、「CG-WLBARGNS-U」のいずれかを選択し、「ダウンロード」をクリックします。

4　「詳細設定ガイド」を右クリックし、「対象をファイルに保存」を選択します。

5　ダウンロード完了後、保存した「詳細設定ガイド」をダブルクリックしてご覧ください。

メモ　**予告なくコレガホームページのコンテンツを変更することがあります。あらかじめご了承ください。**

●ユーティリティディスクから見る（セット品のみ）

CG-WLCB300GNSまたはCG-WLUSB300GNSは付属のユーティリティディスクからご覧になることができます。

1　付属のユーティリティディスク（セット品のみ付属）をパソコンに入れ、画面が表示されたら［マニュアルを読む ～詳細PDFマニュアル～］をクリックします。

2　「無線クライアントユーティリティ 詳細設定ガイド」（PDFマニュアル）が表示されます。

トラブル・疑問が解決しないときは

本書に記載された手順以外の方法をコレガのホームページでお知らせしていることもありますので、あわせてご覧ください。

●コレガホームページ
　http://corega.jp/
●マニュアルをダウンロードしたいときは
　http://corega.jp/support/manual/
●「よくある問い合わせ」を見る
　http://corega.jp/faq/

ルータの設定が完了していない場合は、モデムにパソコンを直接接続してコレガホームページをご覧ください。

・製品のお問い合わせはメール、FAX、電話のいずれかを利用してお問い合わせください（弊社へのお持込によるお問い合わせは承っておりません）。また、サポートセンタへのお問い合わせは日本語に限らせていただきます（This product is supported by Japanese only.）。
・本商品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、日本語版OSのみ動作を保証しています。そのため、日本語版OS以外のお問い合わせはお受けできませんのでご了承ください。

メールでのお問い合わせ

メールでお問い合わせをご利用される場合は、あらかじめコレガのユーザズサイト「corePark」にてユーザ登録が必要となります。

● corePark アドレス
　http://corega.jp/support/inquiry/mailfaq.htm
　受け付けは24時間行っております。質問の回答は弊社営業日に随時メールにて行っております。

FAX でのお問い合わせ

●コレガサポートセンタ

FAX 番号：045-476-6294

コレガホームページよりダウンロードした「お問い合わせ用紙」をプリントアウトの上、必要事項をご記入ください。「お問い合わせ用紙」は次の URL からダウンロードできます。

●「お問い合わせ用紙」のダウンロード

http://corega.jp/support/inquiry/support_2.pdf

また、お問い合わせには次のことをお知らせください。

・製品名、型番
・ご購入日、ご購入店
・お客様のお名前、電話番号（連絡が必ず取れる番号）、FAX 番号
・ご利用のネットワーク環境の詳細（※ 1）
・トラブルの詳細（※ 2）

※ 1　ご利用のネットワーク環境の詳細で「モデムの製品名」「プロバイダ名」「回線卸業者（フレッツ、アッカなど）「IP 電話の使用の有無」「有線・無線 LAN アダプタの製品名」「（無線の場合）無線ルータまたは無線アクセスポイントから無線 LANアダプタまでの距離」などの記入がない場合は的確な回答が難しくなります。お手数ではございますが、できるかぎり詳しくお知らせください。

※ 2　トラブルの内容が「マニュアルどおりに設定しても設定できない」という場合は、マニュアルのタイトル、設定できたページ範囲をお知らせください。

電話でのお問い合わせ

●コレガサポートセンタ

電話番号：045-476-6268
受付時間：10：00～12：00、13：00～18：00
（祝・祭日を除く月～金、ただし弊社指定営業日は除く）
電話でのお問い合わせには、おかけ間違いのないよう番号をお確めの上、お問い合わせください。

故障と思われる現象が生じた場合は、コレガのホームページよりダウンロードした「修理依頼用紙」をプリントアウトの上、必要事項をご記入ください。
「修理依頼用紙」は次の URL からダウンロードできます。

●修理依頼用紙のダウンロード

http://corega.jp/support/inquiry/support_3.pdf

●ご購入の販売店にお持ちいただくもの

・修理依頼用紙
・製品保証書
・製品の購入日が証明できるもの（レシートなど可）
・製品本体（AC アダプタなどの付属品一式を含む）

また、修理をご依頼する際は次のことにご注意ください。

・弊社へのお持込による修理は受け付けておりません。
・修理期間中の代替機等は弊社では用意しておりませんので、あらかじめご了承ください。
・保証書に販売店の捺印がない場合は、保証期間内であっても有償修理となる場合があります。
・製品購入日の証明ができない場合、無償修理の対象となりませんのでご注意ください。
・修理依頼時の運送中の故障や事故に関しては、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

付録

製品仕様

● CG-WLBARGNS

仕様

サポート規格	無線LAN	（国際規格）IEEE802.11g/IEEE802.11b/IEEE802.11
		（国内規格）ARIB STD-T66
	WAN	IEEE802.3u（100BASE-TX）/IEEE802.3（10BASE-T）
	LAN	IEEE802.3u（100BASE-TX）/IEEE802.3（10BASE-T）/IEEE802.3x（Flow Control）
取得承認		VCCI クラスB、技術基準適合証明
推奨ブラウザ		Internet Explorer 6以上、Safari 1.2以上
無線LAN仕様	周波数帯域	[IEEE802.11g/b] 2.412GHz～2.472GHz（中心周波数表示）
	チャンネル数	[IEEE802.11g/b] 13ch（1～13ch）
	伝送速度	[Nテクノロジー適用時] 300～6Mbps（ロング/ショート ガードインターバル） [IEEE802.11g] 54/48/36/24/18/12/9/6Mbps [IEEE802.11b] 11/5.5/2/1Mbps
	伝送方式	OFDM（直交周波数分割多重変調方式）、DS-SS（直接拡散型スペクトラム拡散方式）
	通信モード	Infrastructure（アクセスポイントモード）
	アンテナ形式	固定式ダイポール型アンテナ×1、プリントアンテナ×1
	セキュリティ	SSID（IEEE802.11：ID（文字列）による識別）、WEP（64/128bit）、 WPA-PSK（パーソナル）、WPA2-PSK（パーソナル）、 TKIP/AES（WPA/WPA2の設定内に含む）、 ステルスAP（SSID名隠蔽、ANY拒否）、MACアドレスフィルタリング、 ワイヤレスパーテーション（無線端末＜＝＞有線端末、無線端末＜＝＞無線端末間通信の有効／無効）
WAN仕様	規格	100BASE-TX/10BASE-T、Full Duplex/Half Duplexオートネゴシエーション
	ポート	RJ-45×1ポート（MIDI/MDI-X自動認識）
LAN仕様	規格	100BASE-TX/10BSE-T、Full Duplex/Half Duplexオートネゴシエーション
	ポート	RJ-45×4ポート（全ポートMDI/MDI-X自動認識）
電源仕様 （ACアダプタ）	定格入力電圧	AC100V（50/60Hz）
	定格入力電流	300mA
最大消費電力		9.5W
環境条件	動作時	温度：0～40℃／湿度：5～90％（結露なきこと）
	保管時	温度：−20～60℃／湿度：5～95％（結露なきこと）
外形寸法		27（W）×137（D）×163（H）mm 本体のみ（アンテナ／ゴム足／突起部を含まず）
質量		295g 本体のみ

工場出荷時の設定

管理者設定	ユーザ名	root
	パスワード	設定なし
	システム名	CG-WLBARGNS
ネットワーク設定	IPアドレス	192.168.1.1
	サブネットマスク	255.255.255.0
ワイヤレス基本設定	通信モード	Infrastructure
	SSID	本体左側面「ネットワーク名」に記載
	チャンネル	自動設定
	暗号化	WPA-PSK2/PSK（セキュリティキーは「初期PINコード」に記載）
ルータ機能スイッチ		ON
マルチAP機能スイッチ		ON

● CG-WLCB300GNS

仕様

サポート規格	無線LAN	(国際規格)IEEE802.11g/IEEE802.11b/IEEE802.11
		(国内規格)ARIB STD-T66
	PCインタフェース	PC Card Standard(Card Bus) TypeII準拠
取得承認		VCCI クラスB、技術基準適合証明
対応PC		DOS/V
対応OS		Windows Vista(32bit)/XP/2000
無線LAN仕様	周波数帯域	[IEEE802.11g/b] 2.412GHz～2.472GHz(中心周波数表示)
	チャンネル数	[IEEE802.11g/b] 13ch (1～13ch)
	伝送速度	[Nテクノロジー適用時] 300～6Mbps(ロング/ショート ガードインターバル) [IEEE802.11g] 54/48/36/24/18/12/9/6Mbps [IEEE802.11b] 11/5.5/2/1Mbps
	伝送方式	OFDM(直交周波数分割多重変調方式)、DS-SS(直接拡散型スペクトラム拡散方式)
	通信モード	Infrastructure/Ad-Hoc
	アンテナ形式	プリントアンテナ×2
	セキュリティ	SSID(IEEE802.11:ID(文字列)による識別)、WEP(64/128bit)、 WPA-PSK(パーソナル)、WPA2-PSK(パーソナル)、 WPA-EAP(エンタープライズ:IEEE802.1X認証)、 WPA2-EAP(エンタープライズ:IEEE802.1X認証) TKIP/AES(WPA/WPA2の設定内に含む)、 IEEE802.1X-WEP(ダイナミックWEP)
電源仕様	供給方法	PCカードインタフェースから供給
	定格入力電圧	DC3.3V
	最大消費電流	520mA
	最大消費電力	1.72W
環境条件	動作時	温度:0～55℃/湿度:5～90%以下(結露なきこと)
	保管時	温度:−20～65℃/湿度:5～95%以下(結露なきこと)
外形寸法		54(W)×118(D)×7(H)mm(突起部:54(W)×34(D)×7(H)mm)
質量		38g

工場出荷時の設定

通信モード	Infrastructure
チャンネル	自動設定
暗号化	無効

● CG-WLUSB300GNS

仕様

サポート規格	無線LAN	(国際規格) IEEE802.11g/IEEE802.11b/IEEE802.11
		(国内規格) ARIB STD-T66
	PCインタフェース	USB 2.0/1.1準拠
取得承認		VCCI クラスB、技術基準適合証明
対応PC		DOS/V
対応OS		Windows Vista (32bit) /XP/2000
無線LAN仕様	周波数帯域	[IEEE802.11g/b] 2.412GHz～2.472GHz (中心周波数表示)
	チャンネル数	[IEEE802.11g/b] 13ch (1～13ch)
	伝送速度	[Nテクノロジー適用時] 300～6Mbps (ロング/ショート ガードインターバル) [IEEE802.11g] 54/48/36/24/18/12/9/6Mbps [IEEE802.11b] 11/5.5/2/1Mbps
	伝送方式	OFDM (直交周波数分割多重変調方式)、DS-SS (直接拡散型スペクトラム拡散方式)
	通信モード	Infrastructure/Ad-Hoc
	アンテナ形式	プリントアンテナ×2
	セキュリティ	SSID (IEEE802.11 : ID (文字列) による識別)、WEP (64/128bit)、 WPA-PSK (パーソナル)、WPA2-PSK (パーソナル)、 WPA-EAP (エンタープライズ:IEEE802.1X認証)、 WPA2-EAP (エンタープライズ:IEEE802.1X認証)、 TKIP/AES (WPA/WPA2の設定内に含む) IEEE802.1X-WEP (ダイナミックWEP)
電源仕様	供給方法	USBインタフェースから供給 (バスパワー)
	定格入力電圧	DC5V
	最大消費電流	330mA
	最大消費電力	1.65W
環境条件	動作時	温度 : 0～40℃／湿度 : 5～90%以下 (結露なきこと)
	保管時	温度 : −20～60℃／湿度 : 5～95%以下 (結露なきこと)
外形寸法		28 (W) ×11 (D) ×91 (H) mm 本体のみ (キャップ含まず)
質量		20g 本体のみ (キャップ含まず)

工場出荷時の設定

通信モード	Infrastructure
チャンネル	自動設定
暗号化	無効

おことわり

・本書は、株式会社コレガが作成したもので、すべての権利を弊社が保有しています。弊社に無断で本書の一部または全部をコピーすることを禁じます。
・予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがありますがご了承ください。
・改良のため製品の仕様を予告なく変更することがありますがご了承ください。

本商品は国内仕様となっており、外国の規格などには準拠しておりません。日本国外で使用された場合、弊社ではいかなる責任も負いかねます。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

本商品は、GNU General Public License Version 2に基づき許諾されるソフトウェアのソースコードを含んでいます。これらのソースコードはフリーソフトウェアです。お客様は、Free Software Foundationが定めたGNU General Public License Version 2の条件に従ってこれらのソースコードを再頒布または変更することができます。これらのソースコードは有用と思いますが、頒布にあたっては、市場性及び特定目的適合性についての暗黙の保証を含めて、いかなる保証も行ないません。詳細についてはコレガホームページ内の「GNU一般公有使用許諾書（GNU General Public License)」をお読みください。なお、ソースコードの入手をご希望されるお客様は、コレガホームページ、サポート情報内の個別製品の「ダウンロード情報」をご覧ください。配布時に発生する費用はお客様のご負担になります。

2007年11月　初版